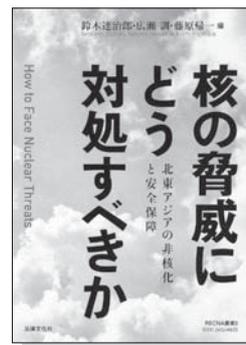


<出版物>

核の脅威に どう対処すべきか

A5判 / 228頁 / 本体 3,200円+税
978-4-589-03921-7

RECNA叢書3



北東アジアの非核化と安全保障

鈴木達治郎

長崎大学核兵器廃絶研究センターセンター長・教授

広瀬 訓

長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長・教授

藤原帰一

東京大学大学院法学政治学研究科教授

編

「ICAN」がノーベル平和賞を受賞し、「核兵器禁止条約」が採択されるなど核廃絶への機運が盛り上がるなか、一方で国際情勢において核の存在が増しつつある。北東アジアにおける核廃絶に向けての阻害・促進の両要因について、核抑止依存の実態、「トラック2」外交の可能性、および非核化プロセスの検証などに焦点をあて分析。

■関連書

核兵器をめぐる5つの神話

ウォード・ウィルソン 著

黒澤 満 日本語版監修 広瀬 訓 監訳

A5判・182頁・2,500円+税 978-4-589-03775-6

核廃絶が進まない要因は？ 被爆国・日本の役割とは？



核のない世界への提言

核物質から見た核軍縮

ハロルド・ファイブソン ほか 著

鈴木達治郎 監訳 冨塚 明 訳

A5判・204頁・3,500円+税 978-4-589-03848-7

専門知識をもたない市民に向け、核物質の専門家解説。



●執筆者●

中村 桂子 (長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)

榎本 浩司 (一橋大学大学院法学研究科博士後期課程在籍中)

吉田 文彦 (長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長・教授)

向 和歌奈 (亜細亜大学国際関係学部国際関係学講義)

孫 賢鎮 (広島市立大学広島平和研究所准教授)

堀尾 健太 (東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻)

全 炳徳 (長崎大学教育学部教授)

永井雄一郎 (日本大学国際関係学部国際総合政策学科助教)

太田 昌克 (共同通信編集委員、RECNA客員教授)

◆目次◆

第1部 「核の傘」依存低減と非核保有国の政策	
第1章 「核の傘」依存国の定義と考察	中村桂子
第2章 「核兵器禁止条約」成立過程における「核の傘」依存国の動向	中村桂子
第3章 オーストラリアの「核の傘」依存政策と「南太平洋非核地帯」(SPNFZ)	中村桂子
第4章 消極的安全保証(NSA)の意義と役割	榎本浩司
第5章 核抑止過剰依存とそのリスク認識	吉田文彦
第6章 北東アジア非核化への包括的アプローチの再検証と今後の対応	中村桂子
第2部 北東アジアにおける信頼醸成—「トラック2」活用の可能性	
第7章 「トラック2」の定義と北東アジアの特徴	広瀬訓、向和歌奈
第8章 北東アジア平和協力構想(NAPCI)の可能性と今後の展望	孫賢鎮
第9章 バグウォッシュ会議の成果と北東アジアへの期待	広瀬訓
第10章 東南アジアにおけるトラック2の役割と限界	向和歌奈
第3部 非核化の検証と北東アジアの課題	
第11章 核軍縮における検証の現状と課題	鈴木達治郎、堀尾健太
第12章 衛星監視技術の利用可能性	永井雄一郎、全炳徳、広瀬訓、榎本浩司
第13章 地域核物質検証制度の可能性	堀尾健太
第14章 北東アジア非核兵器地帯の検証制度とその課題	鈴木達治郎、堀尾健太
第4部 パネル討論	
パネリスト：藤原帰一、太田昌克 司会：吉田文彦	



■発行 法律文化社

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町71
TEL:075-791-7131 FAX:075-721-8400

注文書	出版社：法律文化社	備考	
	取扱店		核の脅威にどう対処すべきか 鈴木達治郎 ほか 編 定価 本体 3,200円+税 ISBN 978-4-589-03921-7 C3031 ¥3200E
			核兵器をめぐる5つの神話 W.ウィルソン 著 定価 本体 2,500円+税 ISBN 978-4-589-03775-6 C1031 ¥2500E
		核のない世界への提言 H.ファイブソン ほか 著 定価 本体 3,500円+税 ISBN 978-4-589-03848-7 C1031 ¥3500E	